

<春潮寮防災時行動フローチャート>

局 面	防災委員・その他の寮生	宿日直教職員	寄宿舍指導員
出火 非常ベル鳴動	廊下の居室室前に立って、非常ベル発信場所を知らせる放送を待つ。	消灯タイマー盤を「手動」にし、「総合防災盤」のある指導員室へ行く。（念のため携帯電話がある場合は持参する）	「総合防災盤」のある指導員室へ行く。
出火場所特定 初期消火の可否 寮生への連絡 消防署への連絡		「総合防災盤」で非常ベル発信場所を確認する。	「総合防災盤」で非常ベル発信場所を確認する。
		総合防災盤電話を携帯し、発信場所へ向かう。	非常ベル止め 、全寮生に下記を3回放送する。
		誤報か火災かを確認する。	「非常ベル発信場所」 「居室前廊下で指示を待つこと」
		誤報の場合は、寄宿舍指導員へその旨を総合防災盤電話（電話線は非常ベル上のジャックに接続）又は携帯電話で指導員室（0138-59-6493）に連絡する。	宿日直教職員からの連絡を待つ。
		火災の場合は、初期消火の可否を判断する。	宿日直教職員から誤報の連絡があった場合は、その旨を全寮生に3回放送で知らせる。
		可能な場合は初期消火を実施し、不可能な場合は寄宿舍指導員へ総合防災盤電話又は携帯電話で指導員室に下記を連絡する。 「出火場所」「何がどのように燃えているか」	宿日直教職員から火災の連絡があった場合、下記を3回放送する。 「出火場所」「全寮生は玄関前へ避難すること」 非常ベルを再鳴動させる。 消防署へ連絡（119）する。 警備員室（6300）へ連絡する。（警備員が緊急連絡網で関係者へ連絡）
避難	放送での避難指示があり次第、各棟・各階の防災委員の指示に従い、玄関前へ避難を開始する。	「火事だ！火事だ！」と叫びながら、その棟の寮生を避難させ、自身も玄関前へ避難する。	宿直室にある「点呼簿」と、玄関にある「避難時点検簿」を持参し、玄関前へ避難する。
	（「防火戸のくぐり戸」を通過する場合は、転倒しないよう各自注意しながら移動する。）		
	（非常ベル鳴動から5分経過した場合は、指示がなくとも自主的に避難を開始する。）		
整列 点呼	一般寮生は、各棟・各階の防災委員の指示に従って整列する。	寄宿舍指導員から「避難時点検簿」を受け取り、各防災委員へ配る。	「避難時点検簿」を宿日直教職員へ渡す。
	各防災委員は宿日直教職員から「避難時点呼簿」を受け取り、点呼を取り次第、直ちに宿日直教職員に不在者氏名を報告する。	各防災委員からの不在者氏名を確認する。	
		点呼簿と照合し、不明者を集計する。	
		不明者を消防に報告する。	